

# 7~8月 チャレンジキャンプ in 赤城山 小~中学生 生活科・理科 家庭科

## File B - 4: 真夏の赤城の自然を感じるプログラム >>>>>>>>> 4日間のチャレンジキャンプ

(ねらい) 学校以外の友だちを作り, みんなで協力して物事をやり遂げることで, 協調性と自主性を身につけることができるようになる。

(実施施設) 前橋市赤城少年自然の家

### 主なプログラムを抜粋

#### 【1日目】

- ・ アイスブレーキング 前庭 (所要時間1時間)
- ・ テント設営 キャンプ場 (所要時間1時間30分)
- ・ 野外炊事・夕食 キャンプ場 (所要時間2時間)
- ・ ドラム缶風呂 キャンプ場 (所要時間1時間30分)



#### 【2日目】

- ・ 野外炊事 朝昼夕食 キャンプ場 (所要時間1~2時間)
- ・ ツリーイング 施設西側の森 (所要時間2時間)
- ・ カッター体験 大沼 (所要時間1時間30分)
- ・ ドラム缶風呂 キャンプ場 (所要時間1時間30分)



#### 【3日目】

- ・ 野外炊事・朝食 キャンプ場 (所要時間1時間)
- ・ ハイキング 小沼 (所要時間4時間)
- ・ キャンプファイヤー・花火 前庭 (所要時間1時間30分)



#### 【4日目】

- ・ クラフト 東屋 (所要時間2時間30分)



**指導体制**: 指導者6名

**対象人数**: 40名

**準備**: 食材, テント, 布団, 飯ごう, 食器, ハーネス, ザイル, ヘルメット, ディバック, 雨具, 水筒, クラフト材料

**留意点**: 4日間のキャンプとなるので, 参加者の体調管理に留意する。

**プログラムの関連性**:

**小学校学習指導要領**

**生活科 内容(5) 季節の変化と生活**

身近な自然を観察したり, 季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりなどして, 四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに関心を持ち, 自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできるようにする。

**生活科 内容(6) 自然や物を使った遊び**

身近な自然を利用したり, 身近にある物を使ったりなどして, 遊びや遊びに使う物を工夫して作り, その面白さや自然の不思議さに関心を持ち, みんなで遊びを楽しむことができるようにする。

**小3年 理科 B 生命・地球**

(2) 身近な自然の観察身の周りの生物の様子を調べ, 生物とその周辺の環境との関係についての考え

をもつことができるようにする。

ア 生物は，色，形，大きさなどの姿が違うこと。

イ 生物は，その周辺の環境とかかわって生きていること。

#### 小4年 理科 B 生命・地球

##### (2) 季節と生物

身近な動物や植物を探したり育てたりして，季節ごとの動物の活動や植物の成長を調べ，それらの活動や成長と環境とのかかわりについての考えをもつことができるようにする。

ア 動物の活動は，暖かい季節，寒い季節などによって違いがあること。

イ 植物の成長は，暖かい季節，寒い季節などによって違いがあること。

#### 小5年 理科 B 生命・地球

##### (1) 植物の発芽，成長，結実

植物を育て，植物の発芽，成長及び結実の様子を調べ，植物の発芽，成長及び結実とその条件についての考えをもつことができるようにする。

ア 植物は，種子の中の養分を基にして発芽すること。

イ 植物の発芽には，水，空気及び温度が関係していること。

ウ 植物の成長には，日光や肥料などが関係していること。

エ 花にはおしべやめしべなどがあり，花粉がめしべの先に付くとめしべのもとが実になり，実の中に種子ができること。

#### 小6年 (3) 生物と環境

動物や植物の生活を観察したり，資料を活用したりして調べ，生物と環境とのかかわりについての考えをもつことができるようにする。

ア 生物は，水及び空気を通して周囲の環境とかかわって生きていること。

イ 生物の間には，食う食われるという関係があること。

### 中学校学習指導要領

#### 理科 第2分野

##### (1) 植物の生活と種類

身近な植物などについての観察，実験を通して，生物の調べ方の基礎を身に付けさせるとともに，植物の体のつくりと働きを理解させ，植物の生活と種類についての認識を深める。

##### (7) 自然と人間

自然環境を調べ，自然界における生物相互の関係や自然界のつり合いについて理解させるとともに，自然と人間のかかわり方について認識を深め，自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察し判断する態度を養う。